







バイオマスの安全なハンドリングと貯蔵 *防火防爆*

2024年5月9日

日英両語によるワークショップ!!

9:30 - 10:00 登録受付、コーヒー片手にネットワーキング

10:00-10:25 「本ワークショップは日本でなぜ重要か」

講演者: 伊藤忠商事 岳崎将義

10:25-10:45 開会の辞: 経験の共有によって貯蔵の安全性確保

講演者: カナダ木質ペレット協会専務理事 ゴードン・マレー

10:45-12:00 出発点は基本: ハンドリングと貯蔵における予防と理解

講演者: ケイリー・レイナー・ブラウン Obex Risk 社

本セッションでは、バイオマスのハンドリングと貯蔵における注意点として、可燃性の粉塵やガスの発生、オフガス、排出などについて取り上げます。さらに自己発熱や外部着火源、何よりも重要なバイオマスの着火の防止策についても検討します。

12:00-13:00 昼食

昼食は会場である会議室にて。

13:00 - 14:15 火災発生: 効果的な鎮火方法

講演者: ジョン・スワーン FutureMetrics 社

バイオマスのハンドリングと貯蔵において効果的かつ実績のある防消火 方法を共有します。貯蔵施設内を不活性雰囲気にして酸素から遮断する 方法や材料搬出方法の解説から、事故例、リスク評価、現場観察も学び ます。

14:15-14:35 ハザード分析: 対症療法から積極的な予防法へ

講演者: ケイリー・レイナー・ブラウン

バイオマスのハンドリングと貯蔵における系統的ハザード評価の最先端であるボウタイ分析について学びましょう。ハザード軽減の実践ツールの基本を学びます。

14:35-14:45 戦術論: 対応計画

講演者: ジョン・スワーン

対応計画のテンプレートを、日加両国の現場の視点から検討します。

14:45 - 15:15 休憩

15:15 - 15:45 現実論: 事例研究

講演者: ジョン・スワーン及びケイリー・レイナー・ブラウン

実際のサイロ火災の事例を複数取り上げ、対応、行動計画、防止策を考えます。プラント人員と地元消防署の訓練についても取り上げます。

15:45-16:40 今後どうするか

総合学習

プライバシーの守られたオンラインフィードバックツールを使い、ハンドリングと貯蔵について他の参加者の声を聴きましょう。

- 心配で眠れなくなるような安全上の不安
- バイオマスのハンドリングと貯蔵の安全性最大のリスクとは
- 自社と消防隊との関係性
- 是非知りたいと思っている解決策やリスク軽減策
- 今後どうやったら事故ゼロにできると考えているか

16:40 - 17:00 閉会の挨拶: 安全は一人ひとりの責任

講演者: ゴードン・マレー / ウイリアム・シュトラウス博士 FutureMetrics

カナダ木質ペレット協会は、ペレット産業、労働者、地域社会の安全性を、カナダ国内外における最大の優先課題としています。マレー氏から本ワークショップを振り返り、貯蔵と職場の安全性を高めるうえで誰もが活用できる学習点をおさらいします。シュトラウス博士からは、業界の将来にとってなぜ安全性が大切であるかをお話します。